

井の頭恩賜公園の自然再生 「かいぼり」が目指すもの

2015.5.18 細岡 晃

公園と地域のいい関係

公園が地域の価値を高める
地域が公園の価値を高める

地域は公園のどこに魅力、愛着を感じているのか。

多様な価値観の中で、井の頭公園の普遍的な価値の一つ。
それは・・・、

「井の頭池。」

同じシーンが思い浮かぶ

地域の共通言語

■井の頭恩賜公園の概要

大正2年（1913）東京市が宮内省の御料地の下賜をうけて日本最初の郊外公園として整備したのが始まり（初の恩賜公園）

●井下清「公園より緑地へ（S17）」より（要約）

『震災前の公園で特筆すべきことは、明治の終わりから小公園が続々開設されるとともに、**市内の大小公園に機能を助長する、郊外自然公園の設置を企画したこと。**』

『当時の阪谷東京市長から**井の頭御料地の下賜**を願い出た。大正2年12月趣旨が認められ、約66000坪の御料地が下賜された』

『御料地に囲まれる約13600坪の神田上水水源となる池、900坪の寺院境内、5400坪の買収地をあわせ**東京市初の大自然郊外公園**が大正6年（1917）5月に開園した（約28ヘクタール）』

●現在の井の頭恩賜公園

・開園面積：40.5ヘクタール



吉祥寺駅

吉祥寺駅

撮影：東京都西部公園緑地事務所



大正6年
御下賜当時の井の頭池

写真:(公財)東京都公園協会蔵



大正十年七月開設

井の頭公園水泳場

写真：(公財)東京都公園協会蔵

■井の頭池の移り変わり

井戸水の供給

現在では8箇所の井戸より水を汲み上げ、池に供給。

池全体で井戸水約 4,000m³/日（かつての湧水量の 2/5）を供給。
その内、弁天池に約 60%（約 2,300m³/日）を供給。
井戸水は窒素・リンを多く含む。



お茶の水
かつて湧水、今は井戸水



■夏を迎えるとアオコが発生する井の頭池



■井の頭恩賜公園100年実行委員会発足 平成18年7月

100年実行委員会の構成

来園者・一般都民

武蔵野市

三鷹市

東京都

商工会・商店会

東京都公園協会

ライオンズクラブ
ロータリークラブ

100年実行委員会
(現在24団体)

企業・団体等

東京動物園協会

事務局：東京都西部公園緑地事務所

活動の柱

- ・水と緑の再生
- ・公園を核とする街の賑わいの創出

平成19年

「水と緑部会」と「賑わい部会」発足

水と緑部会の目標

1. 外来生物の駆除・水草の植え付けなどで井の頭池の生態系を回復させ自然の浄化能力を活用し、池の底が見えるように浄化すること
2. 市民・地域の方々とそれを目指すこと

かいぼりを実施し目標の達成へ

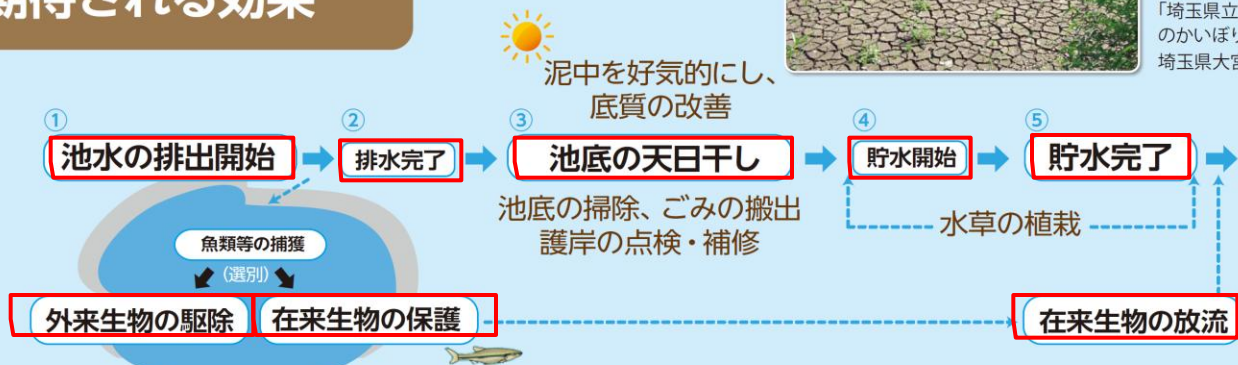
■かいぼりとは？

かいぼりとは？

かつて農作業が終わる冬にため池から水を抜き、1カ月ほど干して、底にたまったヘドロや土砂を取り除いたり堤防や水路の点検修理を行っていました。これを「かいぼり」と呼び、ため池を維持するために欠かすことのできない年中行事でした。

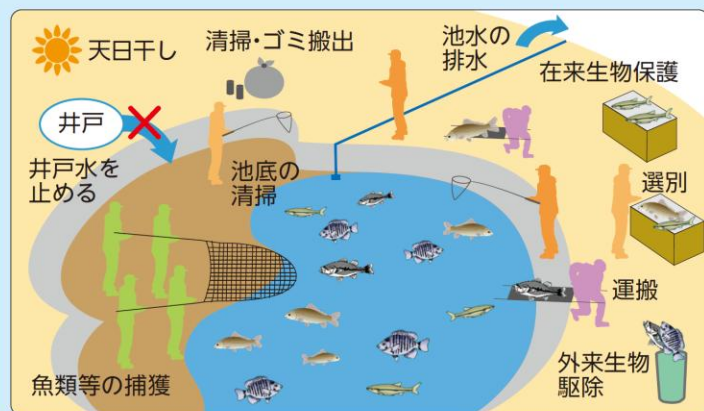
現在では、そのようなものは少なくなりましたが、池の水質改善や外来生物の駆除を目的とした「かいぼり」が行われています。

かいぼりの手順と期待される効果



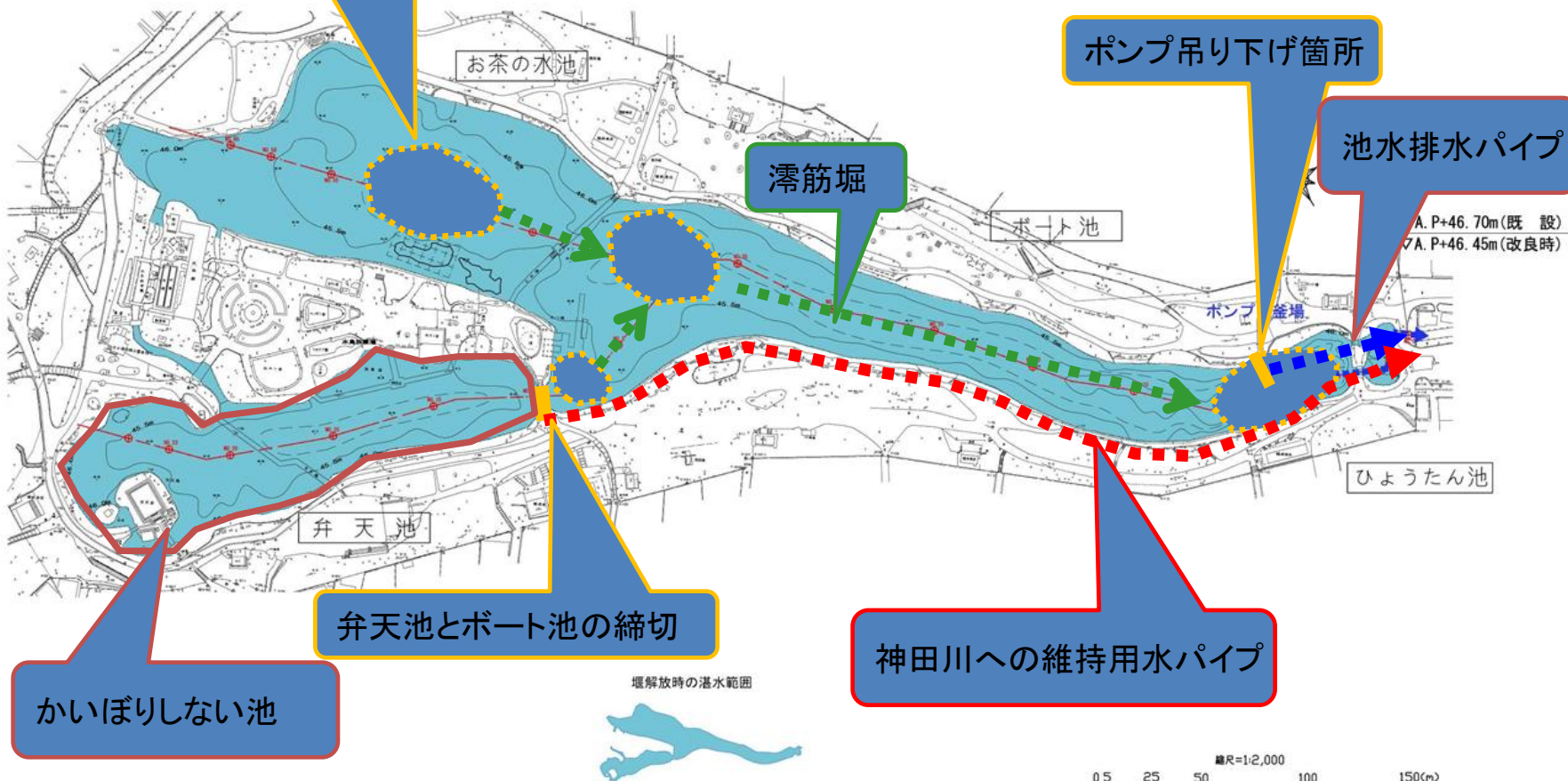
▼ 池底の天日干し

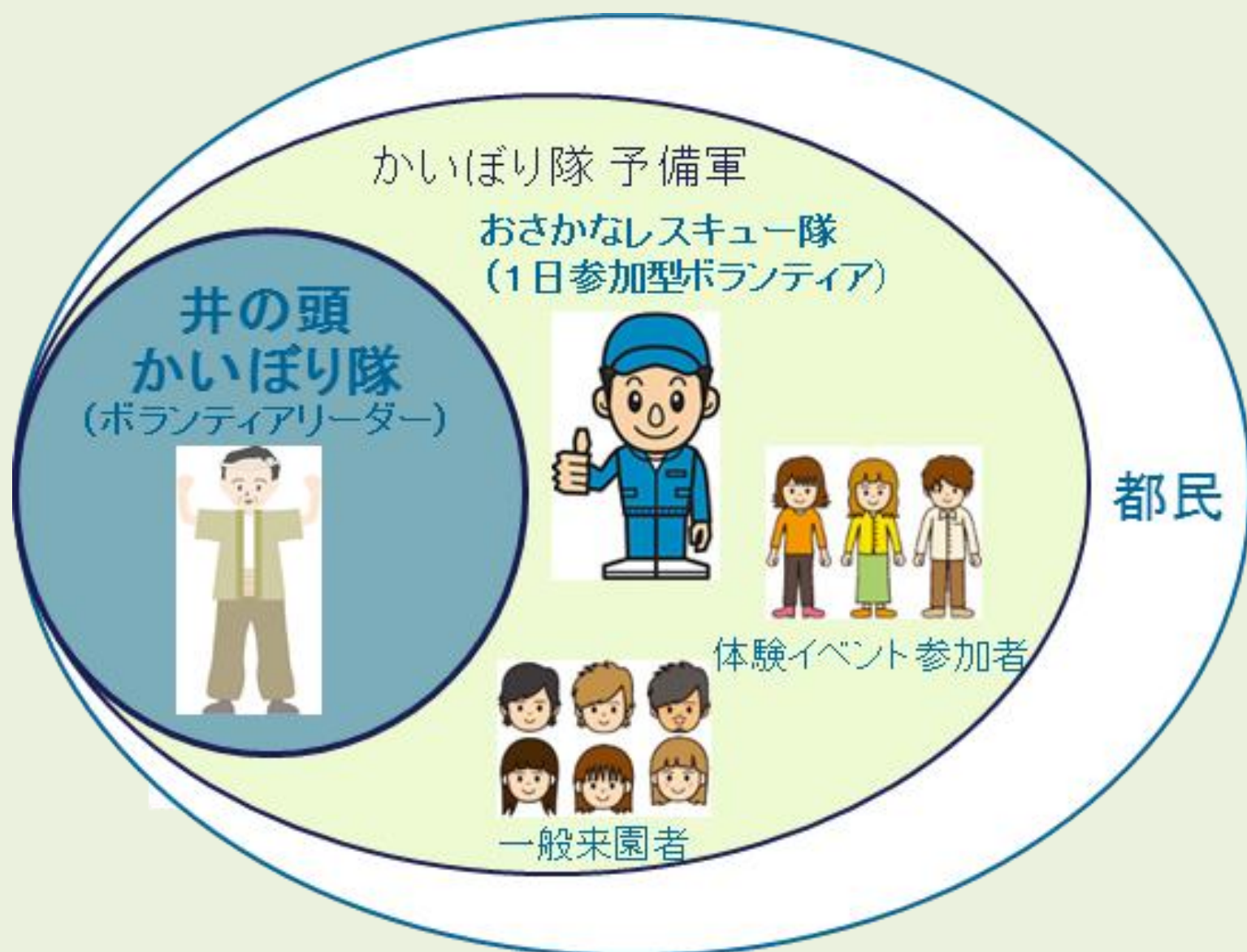
写真引用：
「埼玉県立大宮公園ボート池
のかいぼりについて」
埼玉県大宮公園事務所



■かいぼり25」の作業概要図

池底が深いため最後まで水が残るところ





「予備軍」の拡大が、「かいぼり隊」の自発的な成長と組織化を助ける



維持用水配水管

神田川へ



26年2月 御茶の水池のようす



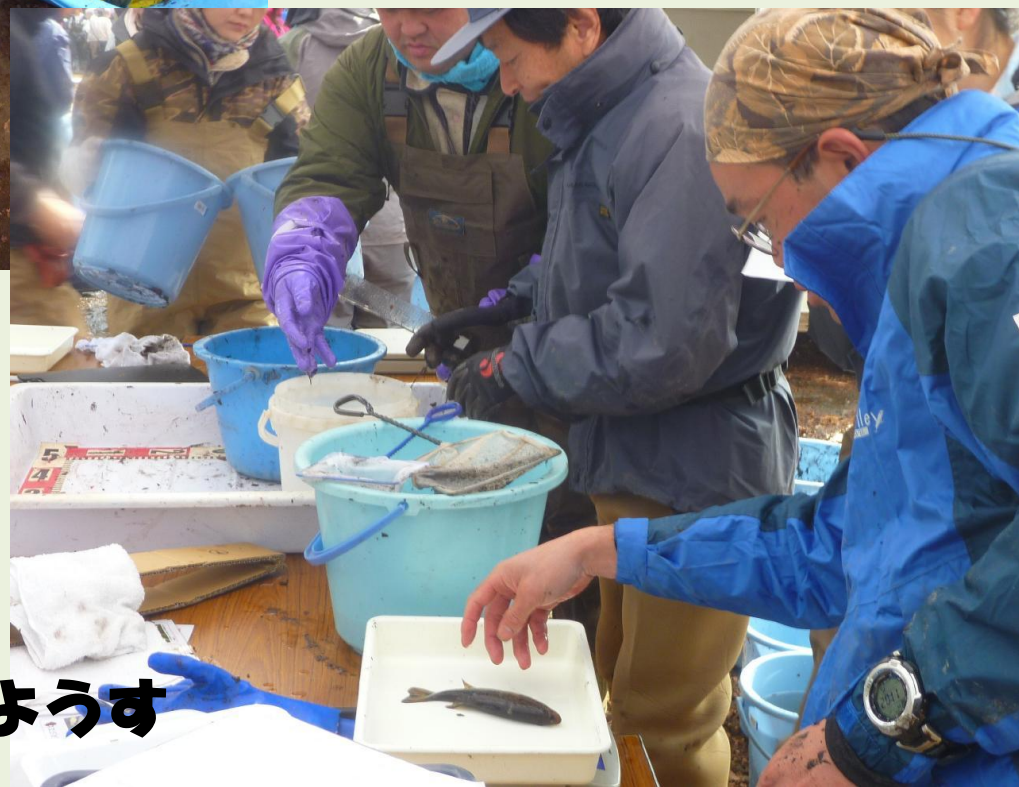
26. 2. 7 雪のボート池



25. 1. 26 かいほい作業



25. 1. 26 かいほり作業



捕獲魚類とその計測のようす



**解説テントでの「かいほり」
の説明と展示**



**解説小屋での説明
会期中、約49000人
の方が来訪**

かいぼり小屋（本部）



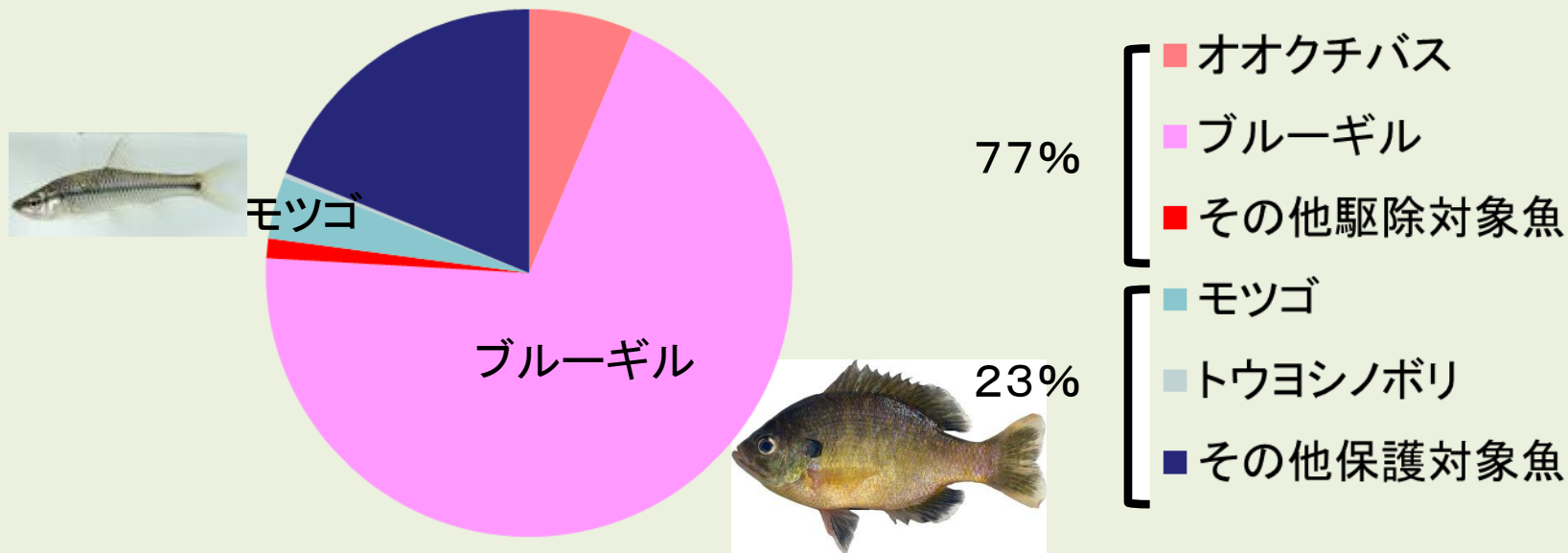


「かいぼり25」まとめ

◆「かいぼり25」捕獲した魚類 全部で25種 18,206匹

駆除対象魚 14,047匹 (77.2%)

保護対象魚 4,159匹 (22.8%)



獲れてビックリ！！ ソウギョ、アオウオ、ビワコオオナマズ・・・

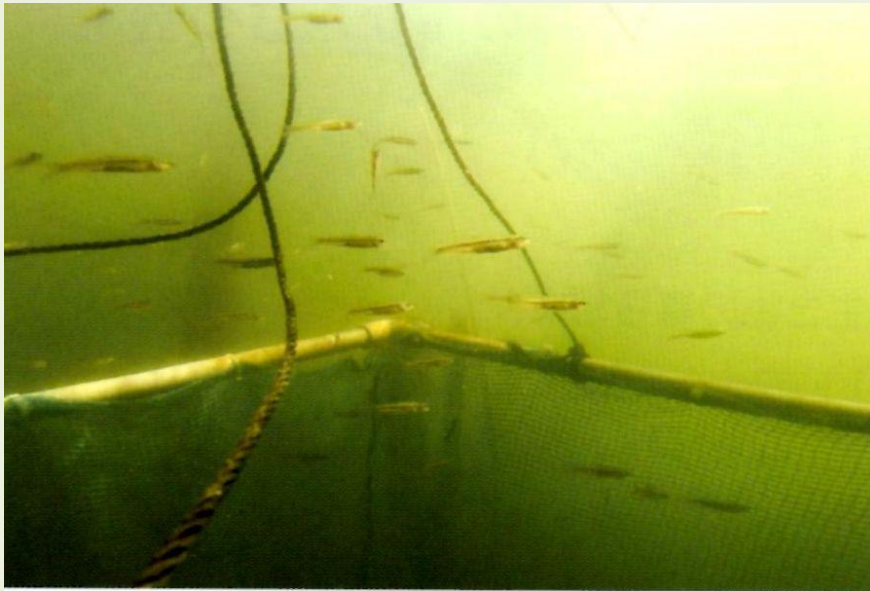
◆ 不法投棄 自転車 約250台

◆「かいぼり屋」など解説テントへの来訪者（1月25日～3月14日）

総数 48,597名

◆「かいぼり隊」「おさかなレスキュー隊」などボランティア参加者

1月25日 253名 1月26日 162名 計415名



平成26年5月 モツゴの稚魚の増加



平成26年8月 ブルーギルの稚魚の増加

(撮影 井の頭かんさつ会 田中利秋氏 「よみがえる！！井の頭池！かいぼり報告会資料集」より)



（撮影 千葉県立中央博物館 林 紀男氏 「よみがえる！！井の頭池！かいぼり報告会資料集」より ）

ありがとう！井の頭恩賜公園 100年実行委員会



恩賜公園の歴史は古く、明治時代から、井の頭恩賜公園は、自然環境を大切にし、市民の憩いの場として、多くの市民に愛されています。100年を記念し、様々なイベントを開催し、市民の参加を促しています。この冊子は、その歴史と現状、そして未来への展望について、市民の声を聞き、情報を提供することを目的としています。



井の頭恩賜公園は、自然環境を大切にし、市民の憩いの場として、多くの市民に愛されています。100年を記念し、様々なイベントを開催し、市民の参加を促しています。この冊子は、その歴史と現状、そして未来への展望について、市民の声を聞き、情報を提供することを目的としています。

楽しかった！
おもしろい！
ありがとう！

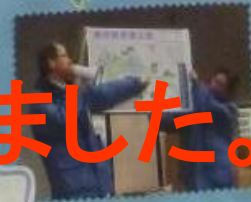


横山功一



栗池香帆

村田清海



ご清聴ありがとうございました。

資料引用:NPO法人 生態工房編

「よみがえる！！井の頭池！かいぼり報告会資料集」(井の頭恩賜公園100年実行委員会水と緑部会) 2015.3

協

力:井の頭恩賜公園100年実行委員会
東京都西部公園緑地事務所



上野崇志

井の頭恩賜公園は、自然環境を大切にし、市民の憩いの場として、多くの市民に愛されています。100年を記念し、様々なイベントを開催し、市民の参加を促しています。この冊子は、その歴史と現状、そして未来への展望について、市民の声を聞き、情報を提供することを目的としています。

夜間直介

井の頭かいぼり隊1期生一同